



慶野 常夫 議員(政友みらい)

投票率向上のための取組について

Q 投票所は、役所などの行政施設がほとんどだが、県内においても、気軽に立ち寄れるショッピングセンターなどの大型商業施設での期日前投票所が少しずつ増えてきている。集客力のある大型商業施設の期日前投票所は、投票しやすい環境の一つであり、わざわざ投票に行くのではなく買物ついでに投票でき、また、政治離れが指摘される若い世代に対しても投票率の向上が期待できるものと考えます。大型商業施設への期日前投票所の設置に対する本市の考えを伺いたい。

A 選挙管理委員会書記長

本市としても、投票環境を整え選挙人の利便性を高めることは重要なことと考えています。選挙の執行体制を考える中において、大型商業施設等への期日前投票所設置について研究したいと考えています。

その他の質問

☆佐野市地域公共交通について



横田 誠 議員(新風)

新型コロナウイルス感染症による財政への影響について

Q 対コロナ財源確保のため、市税の減収を見込んだ上で事業の中止など歳出抑制をするだけでは、市民サービスが低下する一方だと思うが、収入確保策についてどのような考えがあるか。

A 総合政策部長

令和2年度は、地方税の徴収猶予の特例制度が設けられ、徴収猶予に伴う一時的な市税の減収の相当額について地方債である徴収猶予特例債が創設されたので、減収補填債と合わせて借入れを検討したいと考えています。令和3年度以降は、市税や各交付金の減収が普通交付税の算定における基準財政収入額に影響するので、普通交付税など地方の一般財源の確保について、県市長会などを通じて国に働きかけたいと考えています。今後、ふるさと納税制度や広告収入の取組を強化するなど様々な手段を講じ、財源の確保を図りたいと考えています。

その他の質問

☆佐野クリケットチャレンジについて



久保 貴洋 議員(蒼生会)

「人間国宝 田村耕一美術館」について

Q 人間国宝田村耕一美術館に関する基本的認識と連携、活用について伺いたい。

A 市長

人間国宝田村耕一美術館に収蔵されている作品は、田村先生の初期から晩年に及び、その多彩な技法を全て網羅し、それぞれの作品が作陶時期を代表する名品ばかりです。当美術館は、民間施設ですが、佐野市の宝であると言っても過言ではありません。幸いにも、館長から全面的な協力をいただけるというお話もありますので、市の田村耕一陶芸館との連携はもとより、例えば田村先生の母校である東京藝術大学との連携、あるいは児童生徒の情操教育への活用など、観光面や地域振興に加え、幅広い視点から連携、活用させていただき、将来にわたり大きな文化の花を咲かせたいと考えています。

その他の質問

☆あそ野学園義務教育学校及び葛生義務教育学校の開校に伴う学校跡地の個別活用方針について



▲人間国宝田村耕一美術館の看板